

Handsome



自分自身の中の壁を越える為に

Handsome CONTENTS ————— January 2013 No.291

TOPICS 新年のごあいさつ

《特集》12月クリスマス家族例会開催／中央会TVクランクイン！／西部青年中央会トライアスロン実行委員会始動！！

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 河津 慎二 ◆編集責任者／担当 副会長 牧田 継夫 ◆制作・編集 第38期メディアコミュニケーション委員会／委員長 長谷川 貴久

「新年のごあいさつ」

鳥取県西部中小企業青年中央会
会長 河津 慎二

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、OB会の皆様をはじめ各関係機関及び、会員所属企業並びにご家族の皆様など、様々な方に当会活動に格別なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も宜しく願い申し上げます。

第38期西部青年中央会も「挑戦」～自分自身の中の壁を越える為に～をスローガンに掲げスタートしましたが、無事に半期を終え、後半戦のスタートを切ることが出来ました。半期を振り返ってみますと、緊張と不安で一杯だった7月総会懇親会で50名もOB会員の皆様にご参加頂き、励ましと勇気を与えられ、私自身非常に心強く思ったことを覚えております。各委員会の活動もメディアコミュニケーション（TVも活用した広報）、政治行政（地域防災対策）、チャレンジ（地域活性化）、教育対策検討、道州制問題検討、総務・40周年事業準備とそれぞれ非常に難しい問題に挑戦しています。各委員会ともそのテーマにしっかり向き合っており、委員会や例会を開催しております。最終的にどのように仕上がっていくのか、私も非常に楽しみです。

2012年後期は、ロンドンオリンピックが開催され、また衆議院総選挙もあり政権交代、異常気象による被害、高度経済成長期に造られたトンネル崩落事故など、良い意味でも悪い意味でも何か考えさせられる年だったと思います。今年も色々な意味で激動の年ではないかと思っております。7月初登壇の会長挨拶で話させて頂いたように、我々青年経済人である西部青年中央会員の年代だからこそ、この地域、国、未来の子どもたちの為に考えて出来ることが必ずあると信じておりますので、残る半期も精一杯挑戦していきたいと思っております。

2013年も皆様のご健康とご多幸をお祈りすると共に、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





12月クリスマス家族例会開催

日時：平成24年12月22日(土)

場所：夢みなとタワー

総勢174名も出席した12月クリスマス家族例会が盛大に開催された。河津会長は挨拶で、「中央会会員は会社の業務と同時に西部青年中央会の活動で、なかなか早く家庭に帰れない日が多いと思います。この日はいつもの感謝の意味で、家族の皆さんのためにクリスマス家族例会を開催しましたので、ぜひ楽しんでってください」と語られた。



続いて、第三子が生まれた拝藤博幸会員と、結婚された足立駿会員へお祝いが贈呈された。



本例会のテーマは「家族・仲間の笑顔を見て、ひとりひとりが元気になる！」と題して、準備段階からオール中央会、そしてご家族にもお手伝い頂いた例会だった。

まず、X'masケーキをご家族メインで作っていただいた。苦勞しながら綺麗に仕上げるテーブル、楽しそうに仕上げる家族。俺に任せろ！と手を出してしまう会員。見ていて微笑ましかった。



そして本日のメインイベント、ペットボトルツリーの点灯式が行われた。会長より、「ゴミになってしまうものも再利用しクリスマスツリーとして、こんなに綺麗なものに

生まれ変わる。これが少しでも地域活性化の為に光を与えることが出来れば」と語られ、会場のライトダウン及び参加者全員のカウントダウンで、河津会長御一家の手によりライトアップされた。会員からは「苦勞した甲斐があった」、ご家族からは「ライトアップするととても綺麗」とあり、両委員長は苦勞が報われた満足の顔をしていた。



《ペットボトルクリスマスツリー》
ペットボトル約3,500本、高さ約7m
この内容は、日本海新聞、山陰中央新報の新聞記事、山陰中央テレビで放映された。

その後パーティが始まり、特に年末は忙しくて家族と夕食を共にしづらい会員も、今日は(?)特に会話が弾んでいた。

歓談の後は「よしととひうた」による、紙芝居と音楽のコラボライブが行われた。ここでは「ザンパング」をはじめとした絵本と軽快な歌で子どもたちを楽しませていたが、「大人たちはもっと大きな声で歌えるよ～」と、会員に振られた時はなかなか声が出せず、カラオケじゃなく子どもと歌を歌う事も大事だな、と感じた。



そしてひろしお兄さん(?)司会の、大ビンゴ大会を行い、役員・各委員会から提供いただいたプレゼントを配った。やはり大きい商品から先に無くなっていく傾向があった。私は「軽いものには福がある」と思った。

最後に、森脇直前会長による締めめの挨拶があり、クリスマス家族例会は幕を閉じた。

この例会は通常と違い、ペットボトルの収集・加工・組立と、2カ月に及ぶ準備で完成した。



相当の苦勞があっただろう、教育対策検討委員会とチャレンジ委員会の方々、プレゼントを提供していただいた方、そして会員全員に感謝したいと思う。

私の家族も最初は「大人の会」ということで半信半疑だったが、とても面白かった、また行きたいと言ってくれたのが嬉しかった。

(記事：桑本)

例会を終えて… 二人の委員長の奮闘話

教育対策検討委員会 委員長 白石 博昭



「終わったー」の一言です。本当に本当に皆様のおかげで無事クリスマス家族例会を成功させることが出来ました。準備段階でリーダーとして不甲斐ない部分をお見せしたことは大きな反省材料ですが、いろんな意味で次に繋がる例会になったと自負しております。

そして何より子供たちが大きな声で笑い、歌い、それを見て大人の僕らが元気になれました。またペットボトルツリーにおいては製作段階から皆様にご協力いただきました。ご家族でペットボトルに穴を開けて頂いた方、委員会で集まって開けた方々の皆の思いが詰まったツリー。あのようにマスコミでも取り上げて頂き、地域に光を照らす一助になれたのではないかと思います。

我々鳥取県西部中小企業青年中央会は、自分たちが思っている以上に本当に凄い能力を持った人間の集団です。少々難しいと思えることにこそチャレンジしてほしい、とあらためて思えた例会でした。

チャレンジ委員会 委員長 上田 康文



クリスマス家族例会を終えて一番に思うのは、良くここまで出来たなという事です。どのように形にしていっていかかなか決まらず、時間だけが過ぎていき、会議をしても全体像は見えず、どうなることかという不安が日々(約3ヶ月間)頭から離れませんでした。

しかし、やる内容をメンバーと吟味し、とてもいい内容に仕上がった時、ようやく安心してたのを覚えています。しかし準備不足で当日まで修正が入りメンバーに迷惑や不安を掛けてしまいました。

いろいろありましたが、例会の内容についても、自分が目にした会員や会員家族の顔からも、大きな達成感が得られました。

この達成感の為にやっていたと言っても過言ではないので大変嬉しく思いました。

思い描いていたイメージよりいい物が出来たと思います。本当にチャレンジ・教育対策検討両委員会のメンバーに感謝しています。



中央会TVクランクイン!

今月は、いよいよ動き出したメディアコミュニケーション委員会制作による西部青年中央会TVについてご報告したいと思います。

中央会TVとは、中海テレビのパブリックアクセスチャンネルを利用して、中央会とは何か、どんな事業をしているのかをお伝えする番組です。



先日、第1回目の放送の収録を行いました。今回は、河津会長をお招きして「中央会とは」についてお話をいただきました。設立当時の想い、過去の活動。トライアスロンから今年度の事業

まで、2時間半ほどの収録でした。

番組を作るには、大きく分けて①企画②構成、台本作り③収録④編集という流れで行われます。今回はその③です。

スタッフは、出演者・ディレクター・カメラマン・音声・AD（タイムキーパーやカンペ持ち）に分かれます。

カメラは、対談の場合全体を撮るカメラを固定し、アップを撮るカメラをスタッフが使います。音声は、番組の場合カメラについているマイクを使う事はほとんどないので、専用のマイクで音を拾い、バランスや音割れがないかのチェックをします。ディレクターは全体の番組のイメージを作り、出演者が緊張しない空気作りやカメラマンへの指示、リテイク（撮り直し）の決定を行います。

カンペは、出演者によって作り方を変えた方がいいようです。要点だけの場合、ほぼ全文書く場合があります。

また、会場選びも大切です。番組としてのしつらえだけでなく、一番大事なのは「無駄な音が入らない」こと。エアコンの音も厳禁ですし、人が遠くを歩く音すら拾ってしまうことがあります。

今回はその③を行ったわけですが、以前中海テレビのスタジオをお借りして行ったものとは違い、完全に会員だけで準備から収録を行ったので、紙をめくる音をマイクが拾ってしまったり、目線の持っていき方や喋るテンポなど、手さぐりの部分も結構ありましたが、予想以上にスムーズに行った気がします。

普段の生活では、ホームビデオは撮っても番組まで作ることはないですし、中央会ならではのメリットかなと感じています。

一度やってみると、会社のプロモーションビデオやyoutubeでの無料CMなども作れるようになります。機材も特にプロ用のものが必要ではありませんので、自社PRに一度作ってみてはいかがでしょうか。



放送は1～2月を予定しております。放送前には皆さんにご案内いたしますので、中海に入っておられる方はぜひご覧くださいませ。
(記事:桑本)

西部青年中央会トライアスロン実行委員会始動!!

西部青年中央会トライアスロン実行委員長 長田 賢一



当会のトライアスロン実行委員長をさせて頂く長田です。

意気込みという事ですが、マラソン部・ボランティア部はトライアスロン協会として何ヶ月も前から活動をする訳ですから、私が何かをする事は無いと思います。ただし、中央会の名前が全面的に出るAS部に関しては皆さんにお願いしたい!!

大会当日、忙しいとは思いますがわずかな時間でも(出来れば夕方以降に)参加をして頂きたいと思ひます。

中央会一丸となってトライアスロンを盛上げて行きたいと思ひますので、皆さんご協力お願い致します。2013年7月14日のトライアスロン当日、皆さん宜しくお願いします。

マラソン部 部長 松田 幸紀



みなさんこんにちは!第33回全日本トライアスロン皆生大会のマラソン部長を拝命致しました松田幸紀です。

今回の大会でマラソン部に所属し8年目になりますが、今までは歴代部長の指示の元、何も考えず動いていただけでしたが今回からは違います!

牧田前部長を始め諸先輩方のご協力を仰ぎながら、しっかりとリーダーシップを発揮し、メリハリのある楽しいマラソン部を作り上げたいと思ひます!

AS部・ボランティア部の皆さんと一丸となり、頑張っ参りますので、どうかご指導宜しくお願い致します!

AS部 部長 山内 英樹



第33回全日本トライアスロン皆生大会の、AS部長という大役を仰せつかりました山内です。

まだ2回しかトライアスロンボランティアへの参加経験がありませんが、選手の皆様へ『早く折り返して、このASに帰ってこよう!』と思ひていただけるような憩いの場所にしたいと思ひます。

楽しい中にも規律と伝統があるAS運営を心がけますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ボランティア部 部長 濱田 修



ボランティア部長として、部内及び各部との連携を図りながら、使命感を持って活動に取り組んでいきたいと思ひます。過去の活動を踏まえながら現状に対処し、何より大会を無事に終え、また次の大会へと繋げていく、という一連の活動を取りまとめることが部長の役目だと思ひます。ですが、これにはボランティア部内外の多くの方々のご協力が不可欠です。

第33回大会までまだ時間はあるようでもボランティア部は早い時期からの活動となりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

中央会徒然

後藤太良副会長

この会に入会させて頂き、早いもので11年が過ぎました。ホンマにそんなに経ったのか？と自分でもびっくりしています。

本当にいろいろなお会いさせて頂きました。めちゃめちゃ怒られた方、すごくやさしくしてくださった方、すごく変わった方・・・。そのほとんどが先輩でした。お会いするたび、どこか緊張している自分がいたり、先輩の言動、行動、背中を見ていた気がします。

いつの頃からか、少しずつ減っていたその先輩の数が、最近では急激に減ってきたなあと思うようになりました。それと同時に後輩の数が増えてきました。この会にいて、本当にたくさんの方に出会えています。感謝。

ところで、私はつきあいが苦手です。ただ、この社会はもちろん、この会でも人間関係は重要です。つきあいを充実させるか否かで、会の雰囲気や質は変貌すると思います。相手のホンネを知ることが会の活性化にもつながるような。また人間からしか学べないこともあると思います。読書やインターネットで情報を得ることも学びでしょうが、「ハラに落ちる」のは、人とふれあってこそだと思います。その人の体験がないとただの空論で終わってしまうような・・・。

偉そうに書いてしまいましたが、今の自分があるのも皆さんと出会えたからだと思っています。

12月度委員会報告

メディアコミュニケーション委員会

平成24年12月5日(水) 19:00～ 米子コンベンションセンター第二会議室
議題／役員会報告

- ・ハンサム、TV番組、12月家族例会について
- ・新入会員オリエンテーション打ち合わせ、その他

政治行政委員会

平成24年12月11日(火) 19:00～ 山月庵
議題／役員会報告、2月例会について

- ・県との意見交換会について
- ・会員拡大、その他

チャレンジ委員会

平成24年12月6日(木) 19:00～ 米子食品会館
議題／役員会報告

- ・12月クリスマス家族例会打ち合わせ
- ・会員拡大について、その他

教育対策検討委員会

平成24年12月6日(木) 19:00～ 米子食品会館
議題／役員会報告

- ・12月クリスマス家族例会について
- ・3月例会について、その他

道州制問題検討委員会

平成24年12月13日(木) 19:00～ 中華料理 大連
議題／役員会報告、11月例会反省

- ・松江YEGとの交流について
- ・今後の活動について、その他

総務・40周年事業準備委員会

平成24年12月6日(木) 19:00～ 焼肉うえば
議題／役員会報告

- ・新年例会打ち合わせ
- ・会員拡大、その他

新入会員



山崎 慎也 A型
株式会社やまさき 代表取締役
OA事務機器・日用品販売
〒684-0003 境港市浜ノ町132番地
TEL 42-2206 FAX 42-2118
(KT) 090-3371-0319
(EM) shinya@yamasaki-web.com
S47.01生

(コメント)

中央会の活動を通じて、明るい未来の創造、地域への貢献、そして中央会の発展のため、精一杯努力していきたいと考えております。何卒、ご指導ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。

気になるアレ覗いてみた



今月の気になるアレは、(株)SC鳥取野人続々！プロジェクトプロジェクトリーダーの藤本満梨子会員に、最近完成したYAJINスタジアムについてご報告を頂きました。

日本初の市民で作るスタジアム「チュウブYAJINスタジアム」は、11月末に竣工し、12月9日に晴れて完成記念試合を行うことが出来ました。このプロジェクトは、2010年7月の発足以来、本当に多くの皆様のお力をお借りし、とりわけ中央会の皆様には公私に渡り多大なるご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

当日はあいにくの暴風雪という悪天候ではありましたが、名古屋グランパスの関莉王選手を始め、日本の名だたる選手が集結し、ガイナレ鳥取の選手との熱い戦いに、たくさん子ども達や皆さんの笑顔の花が咲きました。

これからもガイナレ鳥取は、地域の活性化のため、新しい時代を拓く礎にならんことを願い、鋭意努力して参りますので共に歩み共にクラブを育てて頂きますようお願い申し上げます。

今月のNice Shot!



日時と場所：平成24年12月20日(木) 夢みなとタワー

撮影対象：教育対策検討委員会 白石委員長

タイトル：『あなたも好きね』

コメント：12月クリスマス家族例会の準備作業中に撮った一コマです。演出用ミストのテスト中、やはりと云うかお約束という云うか、煙の中に飛び込む会員が出現。白石委員長も傍でウズウズしておられたので、お願いしたところ、嬉々として飛び込んで行かれました。

1月役員会報告

1月役員会が平成25年1月7日(月)米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・12月例会報告
- ・1月新年例会開催審議
- ・2月例会開催協議
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

1月新年例会のご案内

と き：平成25年1月16日(水)

[18:00(現役会員入場) 18:20(OB会員入場) 18:30～21:00]

と ころ：米子全日空ホテル 飛鳥の間

内 容：新年例会(賀詞交歓会、荒神神楽「八重垣能」等)

担 当：第38期 総務・40周年事業準備委員会

編集後記

オムロン・無印良品・パナソニック・タニタ、これみんな私が頂いた体重計のメーカー名。3年前に結婚した時、数少ない？女友達からの結婚祝いでもらった品物。ややメタボ気味だった私を心配してくれる、やさしく可愛い女友達。

中央会に入ってから5か月。みんなの思いを裏切るような形で、体重は着実に自己記録を更新している。身体年齢51歳！？(おいマジかよ・・・)

何事も体が資本。健康に気を付けて来年も頑張るぞ。

(宮田)